



第 115 号 2020 年 2 月 20 日発行 島田療育センター支援部ピコピコルーム

<https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/intro/pikopiko.html>



## iPad でプリクラ作成

昨年 9 月 14 日(土)に開催した「わいわい祭り 2019」、ピコピコルームは例年通りのゲームコーナーを用意して参加者の皆さんに楽しんでいただきました。内容としてはピコピコルームによる「iPad でプリクラ」「1 スイッチでマリオ」、情報ボランティア障害者支援の会による「電動水鉄砲で景品ゲット」「支援機器展示」などです。

プリクラコーナーはここ数年続けている人気のあるブースです。iPad で撮影した写真に飾り付けをして最後はプリントシール用紙に印刷してお渡ししました。わいわい祭りに参加した記念に、思い思いのポーズで写真を撮影されていました。プリクラの印刷を待っている間には、マリオのゲームを楽しんだり、電動水鉄砲を操作したりと、皆さん時間を有効に使って楽しんでいただけていました。

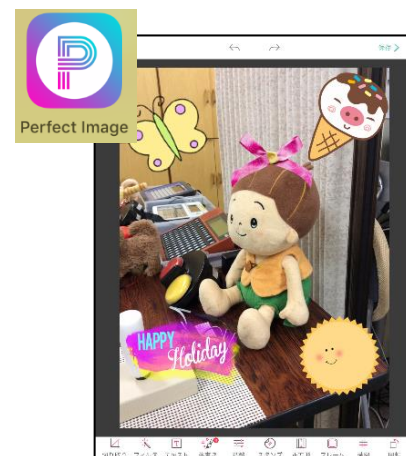
さて、今回はこの「iPad でプリクラ」で使ったアプリについて紹介したいと思います。プリクラ用の写真撮影と飾り付けには「Perfect Image」というアプリを使用しています。写真の撮影後、落書き、フィルター、スタンプなどで飾り付けることができるアプリです。とても高機能なアプリなのですが、あまり飾り付けに凝りすぎると待ち時間が長くなってしまいますので、今回はシンプルに「わいわい祭り 2019」という文字を入れたり、少し枠をつけたりと簡単なものにしました。

仕上がった写真はインクジェットプリンタでプリントシール用紙に印刷します。エーワンやエレコムなどシール用紙を販売している会社が、印刷用のアプリも提供しています。今回はエーワンのシール用紙を使用したので、エーワンの「ラベル屋さん 写真シールプリント」というアプリを使いました。アプリで使用する用紙を選び、先程完成させた写真を割り付けて印刷ボタンを押せば完成！プリンタは Air Print 対応のものを用意すればワイヤレスで印刷できちゃいます。

今回は「Perfect Image」を使いましたが、他にも「LINE カメラ」や「B612」といった写真加工のアプリが数多く存在していますので、気に入ったアプリを使って作ってみてくださいね。(神田)



わいわい祭りではプリクラの作成や大画面のゲームで盛り上がりました。



アプリ「Perfect Image」では、写真の撮影と飾り付けをすることができます。



飾り付けた写真を「ラベル屋さん写真シールプリント」で割り付け、シールに印刷します。

## 意思決定支援とICT Part 3

2000年度国の「障害児の情報バリアフリーを促進しIT革命による情報通信の利便を在宅の障害児が等しく享受できる環境づくりを始める」との通達があり、東京都から「障害児情報バリアフリー設備整備事情が始められました。島田療育センターでは「ITワーキンググループ」が設置され、島田療育センター後援会の協力のもと「ピコピコルーム」が設立しました。その後、試行錯誤を繰り返しながら在宅や入所利用者の皆様が生活の中で興味関心を広げ、他者とのコミュニケーションツールとしてのIT機器を活用しやすい環境作りを続けてきました。

現在、ピコピコルームには、トーキングエイド、レッツチャット、多種のスイッチとディスプレイの他、様々なマウスや最近広く活用されているタブレットと周辺機器、数多くのアプリケーションを用意しています。

IT機器の活用は、使用する利用者のニーズと障害特性に応じた個別の支援が求められます。ご本人の楽な姿勢とそれに合わせた機器の配置、どんなスイッチを選択するかも大切な支援の一つになります。

右の写真は、視線入力装置を活用している場面の様子になります。丁寧なアセスメントと活用のための訓練を経過後、文字の入力方法を獲得した事例になります。意思の表出が明確になり、意思決定支援につながる活用例となっています。

右の写真は、スイッチを活用した利用者様の様子になります。黄色の丸いスイッチにはなかなか手が伸びにくいですが、棒状のスイッチはご自分で手を伸ばして犬の鳴き声を聞いて喜んでいらっっしゃいます。

(清水)

### 引用・参考文献

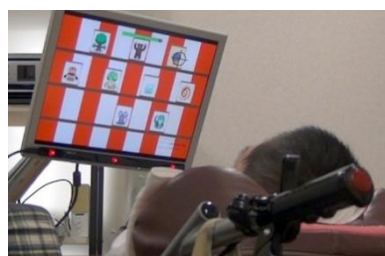
「重症心身障害者の意思決定支援と成年後見制度」報告書(平成30年度独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業)  
圓山哲也 ローコスト視線入力装置の活用について  
西巻靖和 「ぼくの気持ち」～意思決定支援について～両親の集い 第727号(2019年1月号 P30～P31)  
東出直樹(2010)「続・自閉症の僕が飛び跳ねる理由」 エスコアール  
障害福祉サービスの利用等にあたっての意思決定支援ガイドラインについて  
厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部平成29年3月31日



ピコピコルームの入口に展示されているコミュニケーション機器。実際に使用感を確かめてから導入を検討できる。



通常のマウス操作が難しい方向けの、ジョイスティック型の代替マウス(右)。近年ではiPad(左)の利用も多くなっている。



近年ニーズの高まっている視線入力装置の利用場面。



利用者様の状態、動き、好みに合わせてスイッチを選定することが大切。

### ピコピコルームについて

島田療育センター 支援部ピコピコルームとは？

「ピコピコルーム」は、島田療育センターの利用者（入所・外来）の皆様方が、パソコンやタブレットなどのIT機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を広げたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部署です。